

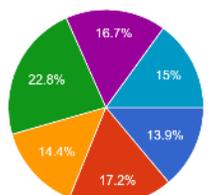
# 授業実施の月例化—大学×市教委×学校×地域・学生の連携体制—

大学と市教委  
の連携



(3週間前)  
前回反省・広報計画

Q7 ほかの学校の友だちし  
心にのこった人はだれです



アンケート結果 開催案内チラシ



(2週間前)  
授業計画づくり



(1週間前)  
事前研修の実施



(授業当日)  
連絡調整・運営支援



(授業当日)  
事後振り返り



学校の参加



(2週間前)

参加申し込み

(1週間前)

事前研修に参加

(~授業前日)

事前接続テスト  
事前アンケート

(授業当日)

授業実施

(授業後3日以内)

事後アンケート

合同

地域や学生  
の協力



(~1週間前)  
教材開発・事前研修



(授業前々日)  
ホスト校の環境づくり



(授業前日)  
支援活動の練習



(授業当日)  
運営支援・現場中継



(授業当日)  
事後振り返り



# デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校

「広域交流型オンライン社会科地域学習：教室や地域を飛び越えてオンラインが広げる未来」  
特集：教育が地域を変える『TURNS』VOL.61，第一プログレス，2023年，32-39頁より一部引用



「本日は東広島市の員多子校たちが知ることを、様々な課題の解決策も自分たちで考えられるように、ここからの対話を進めたい」と話す津波さん（左）と徳廣さん（右）。地域を隔る子供たちの未来を一緒に考えていく。

住んでいる地域を超えて  
参加している学び  
「今日はスベシキルゲストの学校も参加してくれています。北海道の霧多布小学校と、鹿児島県の薩摩高島園の子供たちです」  
授業を進める高尾先生の原田和博教授が、元来よく呼びかけた。メイン会場となった高尾東小学校の教室に座る子供たちも、そして、大型スクリーン越しのたぐさの子供たちも、この日は、東広島市内の小学校二校（二十学級五百四十八人）に加え、遠く離れた北海道や鹿児島からも参加した。授業は、学校の枠を超え、距離を飛び越え、みんながつながって進んでいく。そこには子供たちの生き生きとした顔がある。東広島市のオンライン学習のいつもの光景だ。  
「この辺りでは大きな災害がないので、自然災害と聞いてもすぐに身近なこととして頭に浮かばない。災害を体験した地域のことを学べる授業は貴重だと思いついて参加しました」  
毎月一回行われており、社会科に関するさまざまなテーマが設定される。この日は「自然災害と防災」について、東広島市ではなかなか経験できない災害について学ぶことができた。  
（六十三年前に起きたチリ沖地震で天



この日のメイン会場となった高尾東小学校で子供たちと共に笑って話しかける高尾先生の原田和博教授（左）。東広島市だけでなく、北海道と鹿児島と合わせて13校がオンラインでつながった。

きな津波は二週間に一度行われ、山の上にある段場に設置します」  
「薩摩高島」という火山がある薩摩島は、家にも学校にも一人一つずつヘルメットがあり、避難に備えています」  
自分たちは遠く北海道や授業に対して意識が通じない東広島の子供たち、高尾東小の教室には真顔な顔差しで聞く子供たちの姿や、驚きの声をあげる先生の姿があった。  
「今回に限らず、自分たちが住んでいる地域のことを画面越しでは知らない地域のことだけじゃなく、知らない地域のことでも話せる。子供たちにとっても当然刺激になります。意外外と先生が「面白いな」と、子供も大人も関係なく、そういう学びは大切なんじゃないかと思えます」  
その微笑みながら授業を見つめるのは、東広島市教育委員会の指導課程情報教育推進室長の沖野治さん（左）と室長補佐の徳廣三さん（右）。東広島市から新たな学びの場が開き始めている。

東広島市教育委員会の沖野さん（左）と徳廣さん（右）。小中学校教員として長く勤務に当たっていた二人は、子供たちの教育によって社会が変えられるというオンライン授業に熱心に取り組んでいる。



HIROSHIMA  
**HIGASHIHIROSHIMA**  
教育が地域を変える  
広域交流型オンライン社会科地域学習  
教室や地域を飛び越えて  
オンラインが広げる未来  
「本日は東広島市の員多子校たちが知ることを、様々な課題の解決策も自分たちで考えられるように、ここからの対話を進めたい」と話す津波さん（左）と徳廣さん（右）。地域を隔る子供たちの未来を一緒に考えていく。  
（六十三年前に起きたチリ沖地震で天